

仮) ロータリーエンジンオーバーホール完全マニュアル

第2巻 分解編 補記類外しから分解まで



製作 : AllbyTabata

1. まえがき

この電子書籍で掲載されている内容のコピー及び転写は禁じます。

この電子書籍で掲載されている手順の参考に来る車両は以下の年式になります。

1985年9月 - 1989年7月

FC3C 100001 ~ 200000

FC3S 100001 ~ 200000

この電子書籍に掲載されている車両は FC3C (オートマ) を題材に記述しております。

作業により発生した問題等は責任をとりません。正確な情報が必要な場合は、メーカーが発行する手順書を参照願います。また、この書籍では、一般的な雑誌のような簡略的ではなく、初心者をターゲットに細かく作業内容を記載しております。そのため、プロの方や詳しい素人の方には読みにくい手順となっております。

素人のため、私にもわかりやすいように、プロ用の言葉の説明ではなく、写真を多く利用しエンジンオーバーホールを説明しております。実際にオーバーホールを実施するまえの勉強には最適です。

その他の情報は、<http://www.rx3.jp> (日本語) をご参照ください。

- | | | |
|-----|-----|----------------|
| 第1巻 | 分解編 | 車両からのエンジン降ろしまで |
| 第2巻 | 分解編 | 補記類外しから分解まで |
| 第3巻 | 分解編 | 洗浄から組み立てまで |
| 第4巻 | 搭載編 | 補記類取り付けから搭載まで |

2. 車両の状況

長い間倉庫に眠っていた FC3S カブリオレです。
水洗いしただけでもきれいになりました。
外装は一度全塗装しているので十分きれいな状態です。



エンジンは圧縮漏れ、水漏れ、オイル漏れ、が発生していたエンジンです。
ただし、エンジン本体の部品に問題が無い状態です。現在の部品供給状況（品質）から、エンジンが完全に壊れてからのエンジンオーバーホールではなく、圧縮漏れなどの状態からのオーバーホールを強く推奨いたします。



補記類を取り外す場合、写真の UP 等で場所がわからなくなることを防ぐため、エンジンの方向をと場所を明確に表現するためこれからの説明では呼び方を以下のようにします。

エンジンフロント



エンジン右



エンジン左

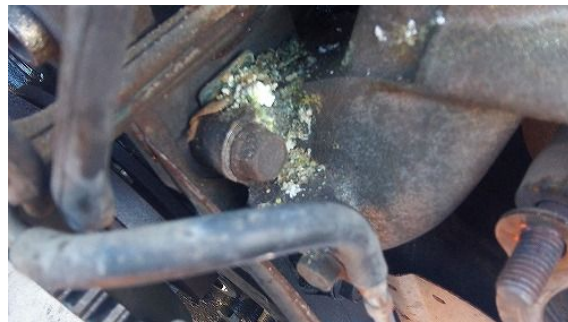


エンジンバック



エンジンの上側を エンジン上部 と エンジンの下回りを エンジン下部 と呼ぶことにします。

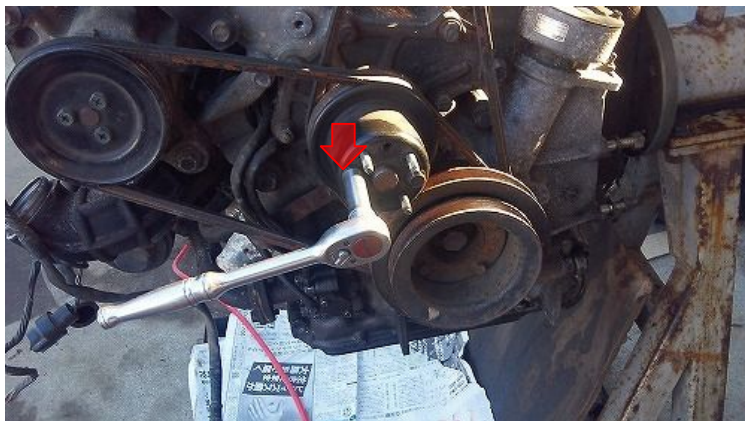
状態チェック



エンジン補記類取り外し編

29. プーリー取り外し編

エンジンフロントにあるベルト及びプーリーを取り外します。写真にあるプーリーのボルト 4 本を 10mm のソケットレンチで取り外します。



写真にあるプーリーのボルト 4 本を 10mm のソケットレンチで取り外します。これで、プーリーとベルトを取り外すことができます。



30. オルタネーター取り外し編

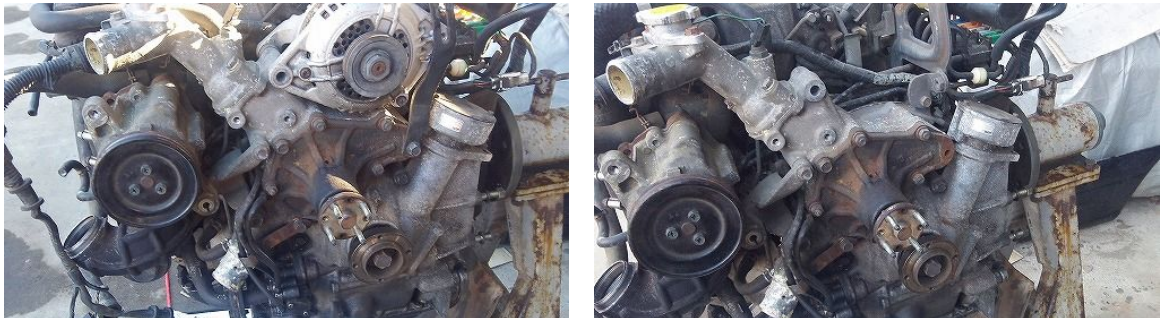
エンジン上部にあるオルタネーターのステーに取り付けてあるボルトを 12mm のソケットレンチで取り外します。



12mm のメガネレンチとソケットでこちらのボルトも取り外します。

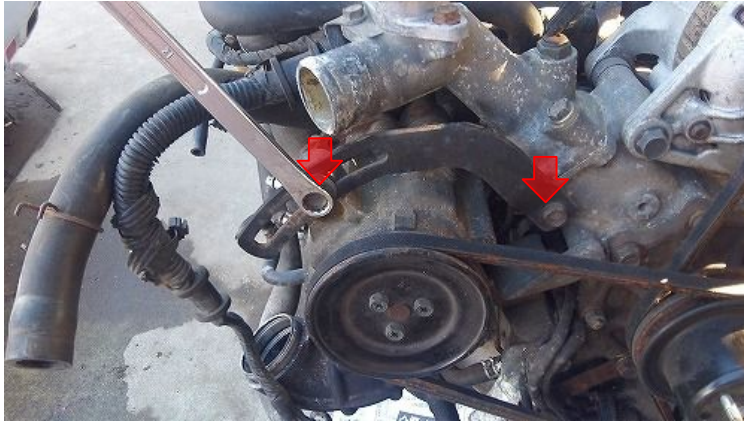


以上でオルタネーター本体が取り外せます。スペーサーがありますので無くさないようにして下さい。

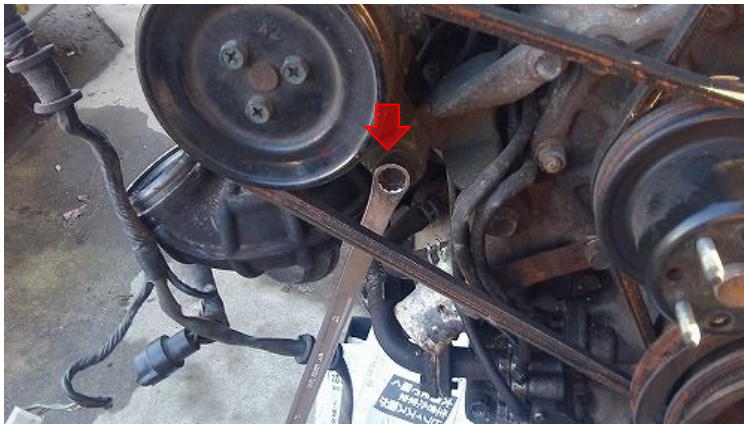


31. エアerpンプ取り外し編

エンジンフロントにあるエアerpンプをとめているステーのボルト 2箇所を 12mm のメガネレンチで取り外します。



エアerpンプが直接エンジンに止めてあるボルトを 12mm のメガネレンチで取り外します。



作業効率のためエアerpパイプを止めているバンドをプラスドライバーで緩めてパイプを外します。



エアポンプにつながったホースの止め具をプライヤーでずらし、パイプを取り外します。



エアポンプ本体をエンジンから取り外します。



エアポンプ本体の取り外し作業は完了です。

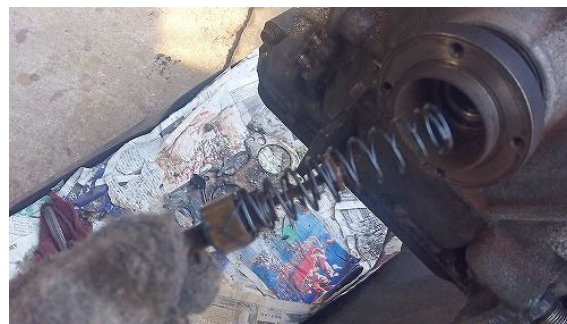


間省略

間省略

42. フロント側作業準備編

19mm ソケットでインパクトレンチで抜き出します。このボルトはネジ止め剤等で抜けないようにしているので、硬いためインパクト用でも割れることがあります。その場合、肉厚のソケットで対応する必要があります。絶対に通常のソケットでは対応しないようにして下さい。



取り付け後にローターの位置がわかるように切り欠きのところにしるしをつけておきます。



43. オイルパン取り外し作業編

オイルパンを外す前にひっくり返すと水が出てくるので完全に抜き取ります。



10mmのソケットでボルトをすべて取り外します。



スクレーパー等でシール剤を取ります。



オイルパンを取り外します。



10mmのソケットレンチでボルト2本を取り、オイルストレーナーを取ります。



つづく